

クラブインフォメーション



平成 22 年 7 月

発行:(財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com

第 14 号

2010 中国ブロッククラブミーティングが開催されました



平成 22 年 6 月 19 日(土)午後、「ピュアリティまきび」(岡山市)に於いて(財)日本体育協会主催による「第 1 回中国ブロッククラブミーティング 2010」が開催されました。

中国 5 県から日本体育協会の創設支援を受けている 32 クラブの関係者 50 名が参加しました。

日本体育協会クラブ育成課の青木課長より、総合型地域スポーツクラブの全国の育成状況、今年度の創設支援事業の概要についての説明がありました。

平成 22 年度創設支援事業受託クラブ数は、1 年目が 135 団体、2 年目が 113 団体の計 248 クラブで予算合計は 2 億 5,000 万円となっています。

また、toto 総合型クラブ自立支援事業(設立後クラブに対しての支援事業)の予算合計は 12 億 1,000 万円。

他の県でのことですが、残念なことに平成 21 年度総合型地域スポーツクラブ創設支援事業において、不適切な会計処理を行ったため委託金の確定を取り消され、平成 22 年度事業の内定についても併せて取り消しとなったクラブがありました。クラブとアドバイザーのコンタクトが希薄だったことも一因ではないかということから、クラブへの巡回指導を定期的に行い、再発防止に努めるよう指示がありました。

設立クラブからの情報提供では、「クラブづくりを楽しもう」というテーマで、山口県の芸北道場、岡山県の柵原星の里スポレク倶楽部の取組の発表がありました。

【今年 5 月から運営を開始した芸北道場理事長の小田壮二さんから】

- ・自然豊かな町・スキーの町なのでスキーをクラブの柱にしたかった。
- ・先進地視察に行って皆の意識が変わった。気持ちが 1 つになった。
- ・クラブスタッフとの飲みニュケーションは大切だ。

というお話でした。

【平成 18 年に設立した柵原星のふる里スポレク倶楽部の表田実典さんから】

- ・(旧)柵原町の地域住民 6,300 名を対象として体育指導委員の呼びかけで始まった。
- ・会員を増やすにはイベントしかないと思い、たくさん実施した。
- ・地域への PR 活動も並行して進めてきた。
- ・イベントはやればやるほど事務局に負担がかかりますが、“みんなで楽しく”を合言葉にやってきた。

というお話でした。

グループディスカッションでは 7 つのグループに分かれ、「クラブづくりにおいて抱えている課題や問題点」・「運営の基礎」(主に 1 年目クラブ対象)について話し合いました。

各クラブでテーマについて考え、意見を出しあい、他クラブではどうしているのかなどが分かり、課題解決に役立ったのではないのでしょうか。

創設支援事業事務処理の説明の後、地方企画班の藤川佳久さん、平谷昌樹さんからまとめのお話がありました。

“とにかくクラブ作りを楽しむ!クラブの理念は重要です!”

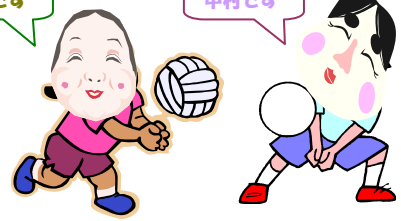


第 2 回の中国ブロッククラブミーティングは、11 月 27 日(土)・11 月 28 日(日)広島県立総合体育館で開催されます。1 日目は創設支援クラブ、2 日目は主に自立支援クラブが対象となります。是非、ご参加ください。

クラブ訪問コーナー

田淵です

中村です



打吹スポーツクラブ＊泥んこソフトバレーボール



試合風景

平成 22 年 6 月 6 日（日）、倉吉市の小鴨小学校北側の田んぼで「第 1 回打吹スポーツクラブ泥んこソフトバレーボール大会」が行われました。

鳥取県体育協会も選抜チームを組んで出場しました。

参加チームは 5 チームと少なかったのですが、総当たり戦で十分楽しむことができました。



打吹スポーツクラブ



泥の中でスポーツをするというのは皆初めてで、最初は泥の中で歩くことさえままならず、ボールが飛んで来なくても勝手に転んでいる人がいて、見ていてとても楽しかったです。

できるならこけたくない、でもどうしてもこけてしまう状況の中でのゲームで珍プレー続出でした。



高橋家とゆかいな仲間



せっせと用水路で泥落とし

試合が終わるたびに重くなった服の泥を用水路で落とし、次の試合を待ちます。

試合が終わったあとは、打吹スポーツクラブが用意して下さった豚汁をいただきました。

日は射していましたが、けっこう涼しかったので温かい豚汁はとても美味しかったです。



BGS-Vチーム



チームドロン女

閉会式で成績発表があり、全チームが参加賞をもらいました。

体協チームはまさか！の全敗でした。

翌日からは若者 1 名を除き全身筋肉痛になりました。

参加チームが増えると更に盛り上がると思いますので、次回はたくさんのクラブの参加があるといいですね。



体協選抜チーム

泥パック効果はあったかな？



試合結果

- 1 位 BGS-V
- 2 位 チームドロン女
- 3 位 打吹スポーツクラブ
- 4 位 高橋家とゆかいな仲間
- 5 位 体協選抜

参加者から一言

- ☆泥んこバレー最高！次回は耳栓必須！
- ☆久々に童心に帰った気分が楽しかった。思うように体が動かず・・・
- ☆一勝したかった。
- ☆とても疲れたけど、とても楽しく、たくさんの人と交流ができ、良い一日でした。



鹿の助スポーツクラブ ＊ 鷲峰山登山



すばらしい快晴！



いざ入山

6月5日（土）、鹿の助スポーツクラブ（鳥取市鹿野町）主催の「鷲峰山登山」に参加しました。集合場所の鹿野町運動広場には県下から64名の参加者が集まりました。

鹿野町のシンボルである鷲峰山は標高921mで、遠くから見ると鷲が翼を広げて飛び立とうとする姿に見えるため、この名前がついたそうです。以前からクラブの方に「見た目よりハードな山だから気をつけてくださいよ」と言われるほど険しい山のように、果たして無事登りきれののだろうか？と不安を抱えたまま、地元商店から提供いただいたバナナとパンを片手にいざ出発。

入山後20分くらいから、「そろそろ休憩？」という参加者の声が聞こえてきました。遊歩道がきれいに整備されていますが、階段も多く、早くも息が切れてはじめてしまいました。しかし、山中は生命の息吹を感じられる新緑に包まれ、上を見れば木漏れ日が気持ちよく、下を見れば下界にはない珍しい草木が花を咲かせており、疲れた登山者を癒してくれたのでした。

半分の地点に当たる小畑からの合流点を過ぎてからは、さらに傾斜が急になり苦戦しました。途中休憩した展望台は、天気によれば大山や隠岐の島まで見ることができそうですが、この日は霞がかっていたため、残念ながら見ることはできませんでした。

階段、階段、階段の連続で、もうこれ以上足が上がらない…もはやここまで…と心が折れそうになっていた時、「着きましたよ、頂上です」という声が。約2時間半かけ、無事頂上に到着することができました。頂上で食べる昼食の味は格別でした。（もちろん眺め、空気も最高でした）1時間ほど休憩してから、頂上を後にしました。自体重が膝にかかる下山は、登りの時とはまた違う苦労が



あります。笑う膝と格闘しながら、約1時間半かけて参加者全員が無事下山しました。参加者には地元の温泉施設「ホットピア鹿野」の入浴券がプレゼントされました。つらく険しい道のりでしたが、山頂に到着した時の達成感は何物にも変えがたく、また登山したい！と思わせてくれるすばらしいものでした。参加されたみなさん、お疲れさまでした。

この登山は11月にも開催されます。次は秋の鷲峰山と一緒に楽しんでみませんか？



展望台からの眺め



岩の上でひと休み



下りもまた楽し



清水さんご夫妻

参加者の声
新聞記事を見て米子から参加しました。鷲峰山は道がきれいに整備されているので登りやすく楽しく登山できました！今度は登山好きの父を連れて来たいです。

日韓ダンス交流 in 鹿野：鹿の助スポーツクラブ



平成22年6月28日（土）、鹿野町中央公民館にて「日韓ダンス交流会 in 鹿野」が開催されました。

2006年に開催された日韓スポーツ交流事業（4月）と、全国スポレク祭（10月）での交流をきっかけに、大韓民国全羅南道のエアロビクスの中心的指導者である王敬花さんと、鹿の助スポーツクラブの佐々木ターミーさんが交流を続けてきました。



そして相互交流を継続され今回で5回目となります。この交流をきっかけに、全羅南道エアロビク協会との交流を定着させ、将来的に県内のエアロビク、体操団体にも交流の輪を広げていけるよう働きかけたいそうです。



韓国からは、全羅南道エアロビク協会会長と、山洞自治センター所属のメンバー・指導者16名が来日され「ダンススポーツ」「生活体操」「ナンタ」等が披露されました。

鳥取県総合型地域スポーツクラブからは、青谷スポーツクラブが「ようこそ音頭」・八幡池スポーツクラブの山名恵美さん率いる女性体育指導員が「トランポロビクス」「傘踊り」を披露されました。



この他にも色々な踊りが披露され、飛び入りで加わったり、全員で踊ったりして楽しい時間を過ごしました。

踊っている時の表情はとても楽しそうで、見ている心も弾んで楽しい気分になります。思わず踊りたくなりました。

とてもハッピーな気持ちになるダンスを通じて、たくさんの総合型クラブで国際交流をしましょう。

“Let's dance!!”

